

循環型社会への貢献

自然の恵みである農畜水産物を加工し、商品づくりをおこなう企業として、自然に感謝し、その恩恵を永遠に享受できるよう、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

食品ロス削減への取り組み

ジャム製造時に発生する食品残さをエコフィードに活用

ジャム・ママレード等の製造過程で発生する食品残さをエコフィード※として活用する取り組みを開始しました。飼料用として、製造品の切り替えや製造終了時に配管に残るなどして発生する残さを活用します。この取り組みによりジャム製造時の食品残さ約25%を有効利用できる見込みです。

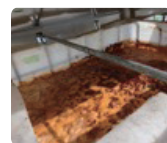
※ エコフィード=食品残さ等を利用して製造された飼料



製造過程で食品残さが発生

メタン発酵発電に食品残さを活用

各工場の製造過程で発生する食品残さをメタン発酵発電の原料として活用する取り組みを進めています。残さをメタン発酵させた上で再生可能電力の発電を行い、メタン発酵後に残る消化液については肥料として使われます。



残さをメタン発酵

発電

パッケージにおける環境配慮の取り組み

果実たより ゆずジンジャー

末梢の冷えが気になる方に向けた機能性表示食品「果実たより ゆずジンジャー」の内袋について、石油由来プラスチックの削減のため、より環境に配慮した100%紙材質の包材を採用しています。



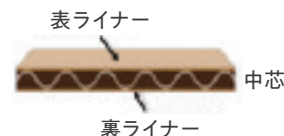
アラハタ くちどけフローズン

「アラハタ くちどけフローズン」の袋にリサイクルPETを採用し、環境に配慮した容器にしています。



小容量ビンの段ボールのスペック変更

「アラハタ まるごと果実」および「アラハタ 55」小容量ビンの段ボールの中芯の材質を見直すことで軽量化を行いました。変更することで、物流時段ボールに求められる必要な強度は維持しつつ、約9%の紙の使用量削減を実現しました。



2023年度の環境目標と実績

課題・テーマ	項目	管理指標	基準年度	2023年度	
				目標	成果
地球温暖化の防止	CO ₂ 排出量	CO ₂ 原単位	2022	100%以下	99.9%
資源の有効利用	エネルギーの削減	原単位		99%以下	101.7%
	使用水の節約	原単位		100%以下	113.2%
循環型社会の形成	排出物の削減	排出量		100%以下	89.9%
	排出物の再資源化の向上	再資源化率		100%以上	100.2%
	排出物の有価率の向上	有価率		100%以上	114.2%



CO₂排出量の削減に向けて

CO₂の削減と農業の生産性向上

CO₂の削減と農業の生産性向上を目指し、「イチゴ農業生産におけるCO₂の回収と活用による生産量の向上」プロジェクトに着手しました。

これは広島県が進める県独自の研究・実証支援制度「HIROSHIMA CARBON CIRCULAR PROJECT (ひろしまカーボンサーキュラープロジェクト)」にアンヴァール株式会社およびSyncMOF株式会社と連携し提案・採択された事業です。大気中から直接回収したCO₂をイチゴ苗に供給することで生産量の向上を図ります。

2024年度から2025年度にかけ、SyncMOF株式会社の新規多孔性材料MOF (MetalOrganic Framework)を使用したCO₂回収装置を使用し、広島県三次市のアラハタ果実研究所で実証試験を行う予定です。

人気フルーツの一つであるイチゴの栽培において、CO₂の削減と農作物の生産量向上という環境にやさしい新たな農業モデルの構築を目指します。



※写真は試作機

LPGボイラー更新

工場に供給する蒸気を発生させているLPGボイラー2基と管理システムを更新しました。これにより従来機器よりボイラー効率約3.5%アップ、システム更新により運用効率が5.0%アップし、放熱ロスが4.6%削減できると予測されます。年間で約24tCO₂の排出抑制に貢献します。



地域への環境配慮と法令順守

廃プラ洗浄機の導入

ジャム工場では、廃プラ洗浄機の導入で製造時に発生する食品が付着したポリ袋の減量に取り組みました。

洗浄と脱水のレベルを向上し、これまでに比べ約65%の重量削減が可能となりました。あわせて洗浄済みポリ袋の再資源化に向けた取り組みを進めています。



廃棄物の管理

廃棄物委託業者は「一般廃棄物」「産業廃棄物」「特別管理産業廃棄物」それぞれの該当許可を有するものから選定し、契約締結時には現地確認で問題のないことを確認しています。

当社では、産業廃棄物の収集運搬・処分委託契約を各々の業者と契約しており、適正な処理の義務と責任および第三者への再委託の禁止を明記しています。また、当社の担当者が産業廃棄物の主要な委託業者の現地確認を年1回以上実施しており、製品の廃棄時には、製品の積み込みおよび委託先での製品処分時に立ち会っています。

マニフェストの作成および管理は、特別教育を受けた特定の管理者のみに限定し、廃棄物の処理および清掃に関する法律に則った抜けのない管理に努めています。

環境関連法令順守と苦情の状況

2023年度中のアラハタグループの事業活動における行政処分を伴うような法令、条例等の違反行為はありませんでした。環境に関する苦情が1件ありました。これについては、速やかに対応するとともに改善策を講じました。